

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとし、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職/坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族/導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職/坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。お亡くなりになったお方と遺族/導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職/坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族/導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職/坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族/導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職/坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族/導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職/坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族/導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職/坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族/導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとし、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとし、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとし、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとして、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。

令和2(2020)年「正覚寺報」7月号

お知らせ

「二次、三次の蔓延に留意せよ」と叫ばれながらも、幸い、コロナもおさまりを見せつつあり、六月から懐かしいお聴聞のご法座を再開させて戴いております。

御門徒の皆様がお慶び戴いているお姿を見るにつけ住職／坊守も新鮮な喜びを覚えます。

どうぞ、皆様には、マスクだけは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(7月5日(日)20時)

仏教婦人会例会 (7月16日(木)19時半)

「させていただく」み教え

ご縁のあるお方をお見送りする都度、住職は、如来様から賜った往観偈(おうごんげ)の御文を仰ぎ、そのお心を反芻します。

お亡くなりになったお方と遺族／導師が如来様に直接対面するときです。往観偈は、仏説無量寿経下巻に納められてある御文です。

其佛本願力(ごぶつほんがんにき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

これは、古来、お棺のご遺体の上に納める『破地獄の御文』と称する御文です。

本体は、お名号です。

漢の玄通律師の逸話に基づきます。

律師が今生で罪を犯して、命終って次の世界に赴かんとし、閻魔大王に裁かれるとき、無意識にこの御文を称えますと、閻魔大王が

冠を傾けて痛く感動し、律師は地獄に墮ちることを免れたという逸話です。

この逸話から、『破地獄の御文』と呼ばれるようになりましたが、その直接的な意味は、衆生が今生の命終って、次の世界に赴かんとするとき、決して地獄には墮とさせないという如来様の本願力を指します。

でも御文そのものの本当の意味は、地獄に落とさないという狭い意味に留まらず、間違いなく極楽往生せしめ、自然の働きで、佛になる上で決して退くことのない不退転の位に就かせて戴くことを申すのです。

なんと心強いことでしょう。

其佛本願力とは、弥陀の本願力です。

聞名欲往生の「聞名」とは、如来様のお勧めの通りに、「南無阿弥陀佛」と称えさせて戴きますと、如来様の本願のお心からのお喚び声をお聞かせに与ります。

「お名号」をお聞かせに与りますと、「さようか」と衆生の頭が垂れます。

「さようか」というのは「信心」の姿ですので、親鸞聖人は「聞即信」(もんそくしん)と仰せになったのであります。

「欲往生」とは、如来様が「お浄土に生まれてくるんだよ」と仰せになる。

その仰せの通りに「お浄土に生まれさせて戴きたいと思わせて戴きます」というのが浄土真宗のお法(みの)りだったのです。「させていただく」とは、近江門徒が歴史的体験的にお育てに与ってきた姿であります。合掌。